

平成21年度

斐伊川・神戸川治水事業概要

平成21年3月

国土交通省 中国地方整備局
出雲河川事務所
斐伊川・神戸川総合開発工事事務所

○問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所

技術副所長 溝山 勇

工務課長 青戸 生治

TEL 0853 - 21 - 1850

国土交通省 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所

技術副所長 木原 均

TEL 0853 - 21 - 1650

平成21年度 斐伊川・神戸川治水事業概要

1. 予算額

【金額単位：百万円】

事業費	島根県分			鳥取県分			全体			
	平成20年 (当初)	平成21年	伸率 (H21/H20)	平成20年 (当初)	平成21年	伸率 (H21/H20)	平成20年 (当初)	平成21年	伸率 (H21/H20)	
斐伊川	河川改修費	7,398.0	7,551.1	1.02	57.0	112.9	1.98	7,455.0	7,664.0	1.03
	総合水系環境整備事業	1,094.5	1,258.0	1.15	260.5	258.0	0.99	1,355.0	1,516.0	1.12
	河川維持修繕費	913.1	876.3	0.96	104.6	101.8	0.97	1,017.7	978.1	0.96
	河川工作物関連応急対策事業費	74.0	250.0	3.38	0.0	0.0	-	74.0	250.0	3.38
	小計	9,479.6	9,935.4	1.05	422.1	472.7	1.12	9,901.7	10,408.1	1.05
ダム	志津見ダム建設事業費	4,750.0	4,371.0	0.92	-	-	-	4,750.0	4,371.0	0.92
	尾原ダム建設事業費	10,788.3	10,360.0	0.96	-	-	-	10,788.3	10,360.0	0.96
	小計	15,538.3	14,731.0	0.95	-	-	-	15,538.3	14,731.0	0.95
合計	25,017.9	24,666.4	0.99	422.1	472.7	1.12	25,440.0	25,139.1	0.99	

2. 事業の概要

① 河川事業【斐伊川】

河川改修費【資料－1】

○斐伊川放水路事業は、平成20年代前半の完成に向け、開削部において分流堰建設を進捗させるとともに、掘削・護岸等の工事を実施します。また、拡幅部においては旧橋りょう等の撤去を実施するとともに、引き続き、河道掘削・護岸等を実施します。【資料－2、3】

○大橋川において、まちづくりに配慮した大橋川改修計画の作成及び護岸・水門等の構造物概略設計を行います。
【資料－4】

○中海において、引き続き松江市本庄地先（中海）^{ほんじょう}の湖岸堤整備を推進します。また、近年高潮で浸水被害を受けている境港市渡地区と米子市崎津地区で地元の理解を得ながら湖岸堤整備に着手します。【資料－5】

○斐伊川本川で堤防の詳細点検を完了させます。【資料－6】

総合水系環境整備事業費【資料－7】

○浄化対策事業では、中海及び宍道湖の水質浄化のための覆砂、植生基盤整備、湖岸植生帯（藻場）整備等を推進します。

○松江市本庄地先（中海）で水辺の楽校を整備します。

河川維持修繕費

○直轄管理区間について、主として堤防除草、ゴミの除去、河口維持掘削、湖水面の清掃、揚排揚排水機場及び樋門の修繕・管理を行います。

河川工作物関連応急対策事業費

○中海周辺において、河川管理施設の樋門の改善を行います。

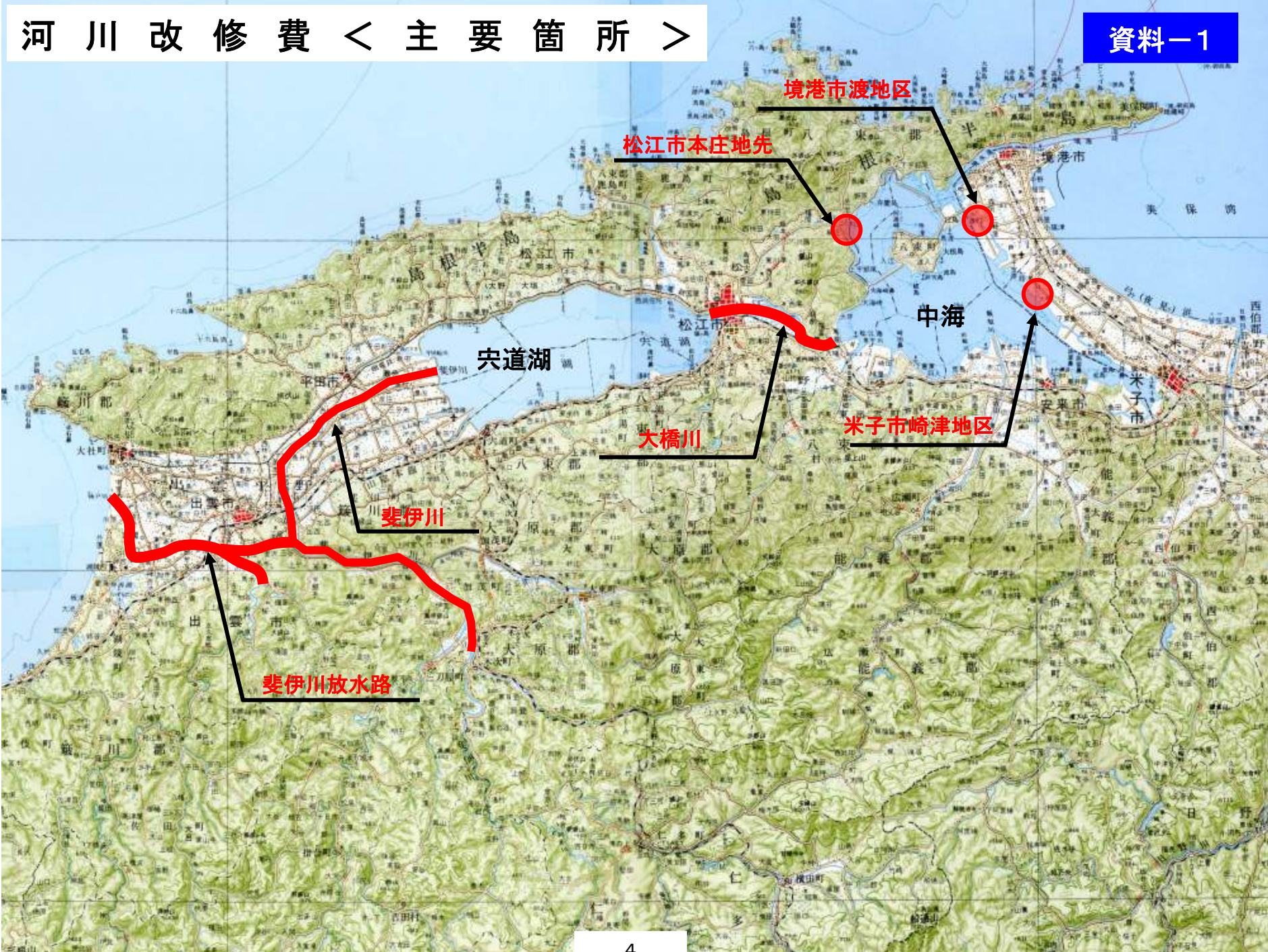
○宍道湖西岸において、樋門の空洞化対策を行います。

斐伊川水系流域図



河川改修費 < 主要箇所 >

資料-1



斐伊川放水路事業

■ 斐伊川放水路の役割

洪水時に斐伊川の水の一部を神戸川へ分流させることにより、斐伊川 下流部の水位が下がります。
また、神戸川の川幅も広がるので、両河川の安全性が高くなります。

■ 斐伊川放水路事業の概要

- 斐伊川放水路（開削部）
出雲市大津町来原付近から同市上塩冶町半分までの4.1kmの区間を、96mの川幅で新たに掘削し、神戸川に合流させます。
- 神戸川（拡幅部）
合流点から河口までの9kmの区間は、神戸川の川幅を平均で現在の約 1.5倍（300～370m）に拡幅します。
- 主な工事内容
掘削土量が約1,600万 m^3 、築堤土量が約400万 m^3 です。橋梁の架け替え・新設は 25橋あり、また、斐伊川分流部の分流堰、神戸堰、新内藤川水門・排水機場等の河川構造物を建設します。
事業にかかわる用地面積は約 322ha、移転家屋は437戸です。



神戸川河口部



国道9号神戸橋及び神戸堰



古志橋付近



開削部

平成21年度 斐伊川放水路の主要工事概要



上記の他に、平成20年度補正予算等により以下の工事を実施します。

- 拡幅部においては、主に掘削、築堤、護岸等の工事
- 開削部においては、主に掘削、護岸、橋梁改築等の工事

* JR神戸川橋梁改築工事はJR西日本が行います。

大橋川改修事業

■事業の概要

斐伊川水系治水事業の3点セット(上流のダム建設、中流の放水路建設と本川改修、下流の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備)の一つである「大橋川改修事業」は、島根県の県庁所在地である松江市街地の中心部を貫流していることから、国際文化観光都市である松江市にふさわしい景観となることにも配慮し、「治水と環境とまちづくりが調和する改修」を目標として計画の策定を進めています。

平成21年度は、これまで行った、大橋川改修の環境・まちづくりの検討会での議論を集約し大橋川改修計画を作成します。改修計画の作成は、地元の皆様の理解を得ながら行い事業着手を目指します。

■期待される効果

斐伊川治水事業3点セットの完成により、宍道湖周辺をはじめ島根県東部において甚大な被害をもたらした昭和47年7月洪水や平成18年7月洪水規模の洪水による浸水被害を解消します。



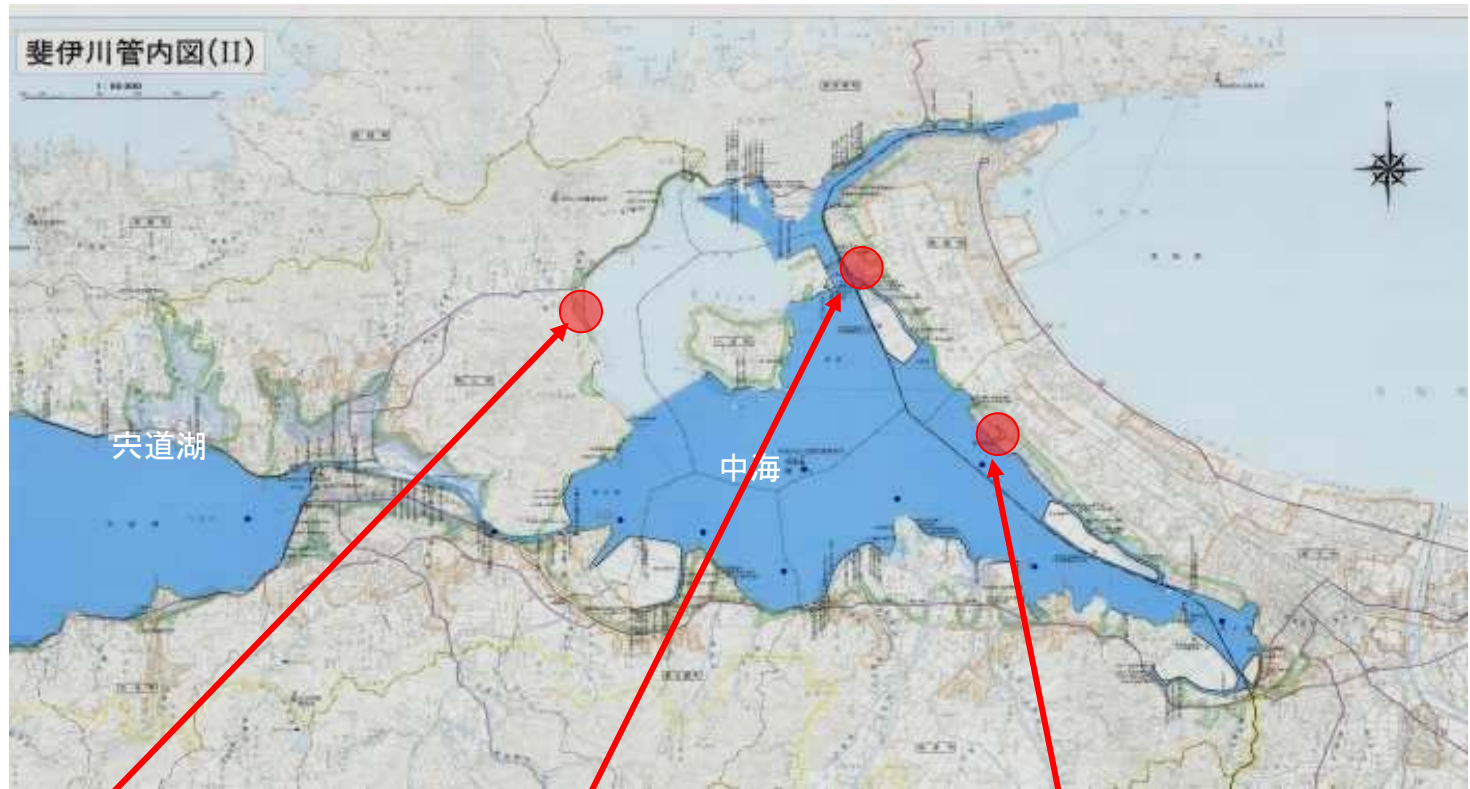
大橋川改修事業の経緯

- 平成16年12月:大橋川改修の具体的内容の公表
- 平成20年 9月:大橋川改修技術検討懇談会により、大橋川改修の進め方及び松江大橋の取り扱いについて助言
- 平成20年10月:大橋川沿川の景観形成に関する整備方針(案)の策定
- 平成21年 2月:大橋川改修事業環境調査最終とりまとめの公表
- 平成21年 2月:大橋川周辺まちづくり基本計画の策定

今年度の主な内容

- 大橋川改修計画の策定
 - 護岸・樋門等構造物の設計
 - 橋梁の検討
- など

中海湖岸堤整備



堤防の質的強化対策の推進

【堤防点検の主旨】

河川堤防(以下「堤防」という。)の構造は、主に実際に発生した被災等の経験に基づいて定められてきたものであり、構造物の破壊過程を解析的に検討して設計されてきたものではない。

一方、治水対策の進捗に伴い、氾濫原における人口や資産の集積には著しいものがあり、堤防の安全性の確保がますます必要となってきている。

このため、計画高水位以下の水位時における耐浸透機能に関する堤防の所要の安全性について、詳細点検を実施しているところである。

◆堤防の詳細点検

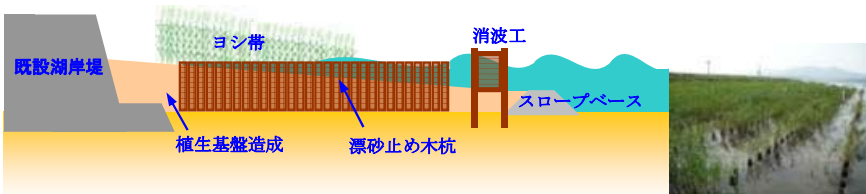
直轄管理区間の堤防を対象に、整備経緯も勘案し、ボーリング調査や土質調査に基づく浸透流・安定解析による詳細点検を進めており、中国地方整備局では平成21年度末迄に、直轄河川についてはすべての堤防の詳細点検を完了します。

★斐伊川の詳細点検予定

- ・ 斐伊川では、平成21年度に詳細点検を完了します。



穴道湖 植生基盤整備



浅場整備



中海赤潮発生状況



浅場整備(イメージ)

藻場(コアマモ)

浅場整備箇所

② ダム事業

志津見ダム建設事業

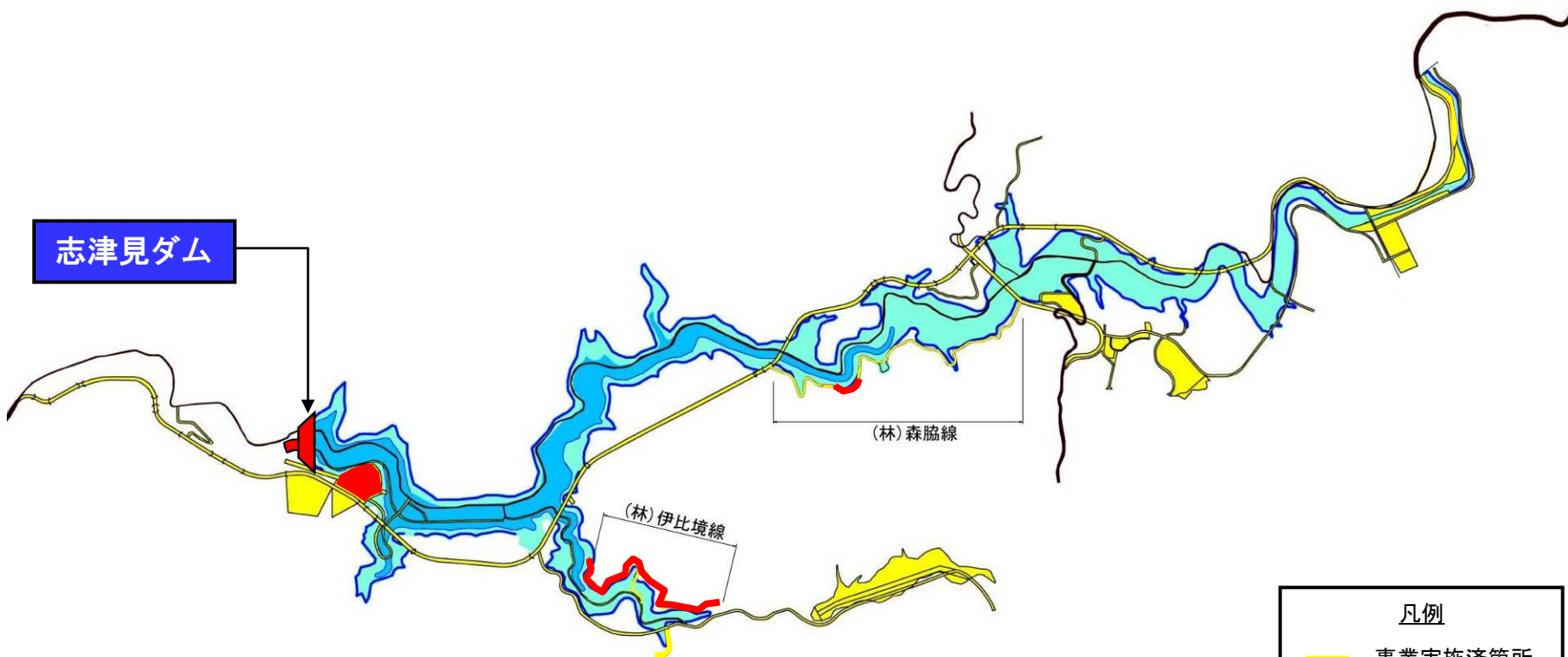
- 管理設備工事、付替道路工事を促進するとともに試験湛水に着手します。

尾原ダム建設事業

- ダム本体コンクリート打設工事を完了させ、放流設備工事、管理設備工事、付替道路工事を引き続き実施します。

神戸川志津見ダム建設事業(平成21年度主要工事)

管理設備工事、付替道路工事を引き続き促進するとともに試験湛水に着手します。



志津見ダム

志津見ダム本体工事状況



本体下流から望む



右岸より左岸を望む



左岸より右岸を望む

付替道路工事状況



林道森脇線



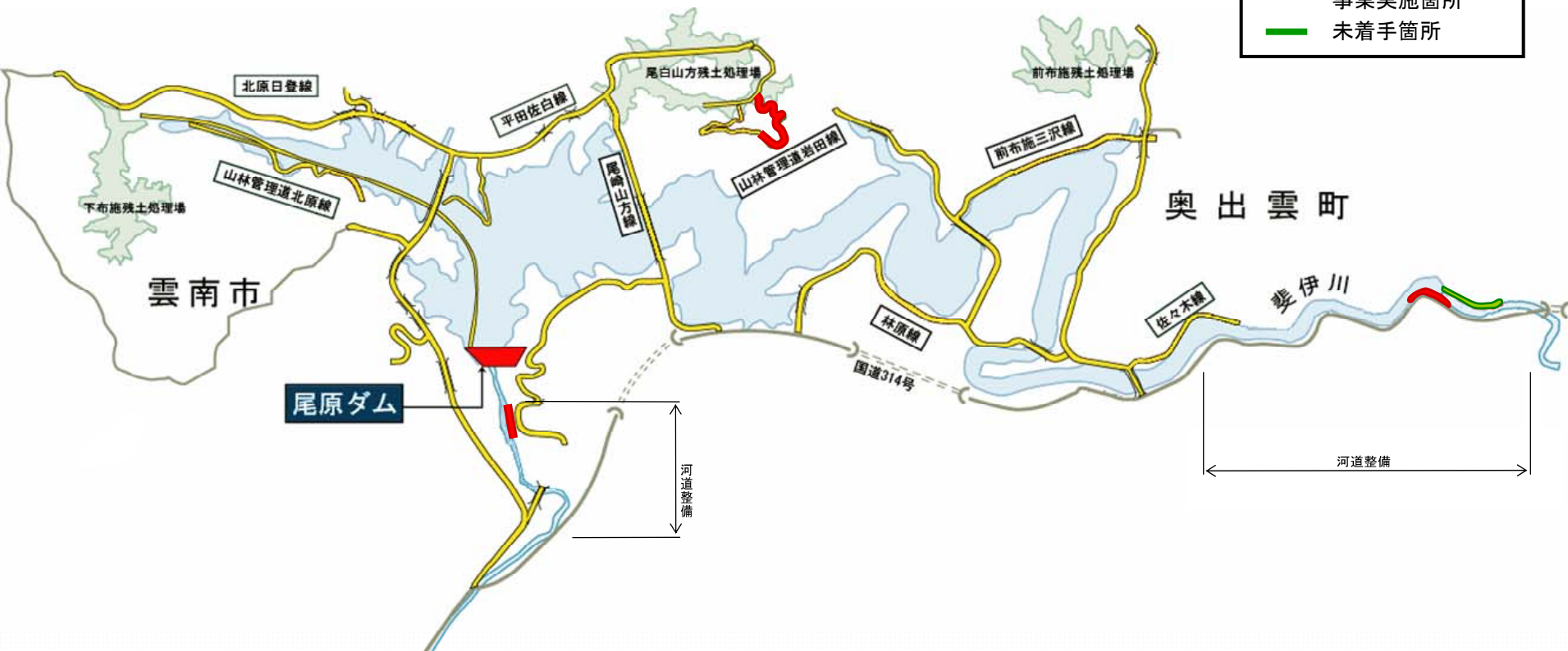
林道伊比境線

斐伊川尾原ダム建設事業(平成21年度主要工事)

ダム本体コンクリート打設工事を完了させ、放流設備工事、管理設備工事、付替道路工事を引き続き実施します。

凡例

- 事業実施済箇所
- 平成21年度事業実施箇所
- 未着手箇所



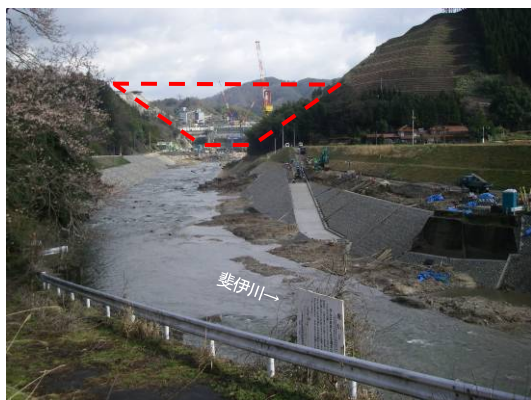
尾原ダム

尾原ダム建設事業進捗状況



ダム本体施工状況(右岸より左岸を望む)

河道整備工事状況(雲南市)



河道整備工事状況(奥出雲町)



ダム本体施工状況(左岸より右岸を望む)